



シンポジウム

未来の里山

保全と活用のヒント

大規模開発が鳴りを潜め、静かに時を刻む里山。しかし、放置された里山では、本来里山が持つ機能が失われつつあります。

里山の豊かな自然と文化を未来へつなげるために、私たちは、どう里山と向かい合っていけば良いのでしょうか。

里山保全の先駆的な地域である'狭山丘陵'の事例から、その糸口を探ります。

狭山丘陵 を事例に

9/29 (日)

14:00 ~ 17:30

会場 立川女性総合センター「アイム」
(JR立川駅より徒歩5分)

参加 無料

人と自然の関係性の視点から、
新たな里山のあり方を提起！

第1部

鬼頭 秀一氏

Syuichi KITOH

東京大学大学院
新領域創成科学研究科教授
環境倫理学者

基調講演

第2部

事例紹介 & パネル ディスカ ッション

狭山丘陵の保全活用の取り組み & 民間・行政・市民による パートナーシップ事例4

- 1 自治体による丘陵を守る施策 & 協働型パークマネジメント
- 2 丘陵の自然保護を担う！
⇒ トラストによる保全活用
- 3 キャンパス内の保全活動！
⇒ 市民と学生による協働
- 4 民間の手で環境保全
⇒ ソーシャルな地域活性化事業

【主催】西武・狭山丘陵パートナーズ（東京都 狭山丘陵グループ指定管理者）

【共催】公益財団法人トトロのふるさと基金、埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター、corot

早稲田大学所沢キャンパス湿地保全活動、さいたま緑の森博物館、東京の緑を守る将来会議

【後援】埼玉県、武蔵村山市、東大和市、所沢市、入間市 【後援予定】東村山市、瑞穂町

シンポジウム
QRコードは
こちら⇒

